

自民が「夢構想」 公募作品から選ぶ

自民党は十四日、国づくりの「夢」として、「日韓海底トンネル」構想を発表した。「開かれた政党」を目指す同党が昨春秋、一般公募した約二千件の中から、実現性は度外視して夢のある計画を選び、関係省庁からも意見を聞いてまとめ上げた。

構想は、佐賀県唐津市から韓国・釜山市にかけて最大水深二百二十メートル

半島有事懸念で

「違和感」指摘も

底に総延長約二百三十キロメートルのトンネルを掘るという壮大なもの。試算では、建設費は六兆円を超すという。

選定に携わった木村太郎衆院議員は「昨今、公共事業見直しが議論されているが、国民の夢を大事にした」と強調しているが、党内では「夢も大事だが、朝鮮半島有事が心配される中で違和感がある」と冷めた指摘も出ている。

日韓つなぐ海底トンネル!?

総合 (2) 14 版

経済

社会

環境

文化

2003年(平成15年)3月15日(土曜日)